



## 全日本トラック協会

### 『トラック事業における総合安全プラン2030』策定

今年4月、全日本トラック協会より『トラック事業における総合安全プラン2030』が公表されました。本計画は、2030年度までに事業用トラック(軽自動車を除く)が関係する交通事故による死傷者数などの目標達成を図るものです。具体的な共有目標として、車両台数1万台当たりの死者数と重傷者数の合計を「7.5人以下」(全体で995人以下)とすることが掲げられたほか、飲酒運転のゼロ化に加え、人身事故や追突事故の件数にも明確な削減目標が設けられています。皆さんの無事故は、業界全体における最重要な課題です。事故ゼロの実現に向け、本プランを日々の安全活動にぜひお役立てください。

#### 『トラック事業における総合安全プラン2030』の主な取り組み

##### 悪質な法令違反の根絶と監査体制の強化

- ・「飲酒運転防止対策マニュアル」に基づく、アルコール検知器の携行と確実な報告指導の徹底。
- ・巡回指導における低評価(D・E評価)事業所への重点監査、および運輸支局への迅速な情報提供。

##### 新技術(ICT・先進安全自動車)の活用

- ・動態管理や予約受付システムの導入を通じた、荷待ち時間の縮減と物流全体の効率化。
- ・先進安全自動車(ASV)をはじめ、車両周辺の安全確認支援装置やアルコールインターロック装置などの導入促進。

##### 健康管理と労働環境の改善

- ・睡眠時無呼吸症候群(SAS)のスクリーニング検査や、血圧計導入への助成による健康起因事故の防止。
- ・若年層や女性、高齢ドライバーの確保と、適正な価格転嫁に向けた荷主交渉の支援。
- ・高速道路における駐車スペースの確保や休息施設拡充に向けた、関係機関への働きかけ。

##### 車両トラブル・特有事故への対策

- ・大型車の車輪脱落事故防止に向けた、計画的なタイヤ交換とホイール・ナットの増し締め、および日常点検の励行。
- ・トレーラー火災の未然防止に向けた、定期点検整備の重要性に関する周知徹底。

出典:公益社団法人 全日本トラック協会『トラック事業における総合安全プラン2030』の策定について』



## ドライバーの安全を守る

### 『SAS対策セミナー』のご案内

睡眠時無呼吸症候群(SAS)は、睡眠中の呼吸停止や低呼吸の反復により良質な睡眠がとれず、日中に強い眠気や疲労を伴う疾患です。全日本トラック協会が6月より順次開催する『SAS対策セミナー』は、経営層や運行管理に携わる皆さんはもちろん、ドライバーの方々にとっても日々の安全運行に直結する有益な内容となっています。詳細な日程や参加方法は、同協会のホームページにてご確認ください。

『SAS対策セミナー』について  
詳しくはこちら



出典:公益社団法人 全日本トラック協会「令和8年度睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策セミナーのご案内」